

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

10月の活動予定

10月6日(火) 第一例会

11月の活動予定

11月10日(火) 第一例会

8・9月の活動報告

9月1日(火) 第一例会

8月29日(土) 甲武信ヶ岳

天気:晴れ

参加者:

東京発の地方への移動自粛中にも関わらず7時に着いた駐車場はほぼ満車で、何とかスペースを見つけ駐車できた。登山口は、駐車場から林道へ直結。溪流沿いの林道を進む。マルバタケブキの黄色い花が秋の気配を感じさせる。樹林帯の溪流沿い、標高が高いこともあってか思いの外暑さを感じない。2時間でナメ滝着。ここまで登ってくるとさすがに汗が止まらない。今年の19号台風被害の影響からか、登山道が細く高巻きとなっていて歩き難いところも。沢の音が聞き取れなくなると、千曲川の水源地に到着。登山口からここまではダラダラの登りであったが、ここから尾根の分岐までは急登。尾根の分岐まで来るとようやく視界が開ける。尾根道を詰め最後の岩場を登りきると甲武信ヶ岳の

山頂に到着。山頂近くまで針葉樹の森が迫っていることもあり、展望は西の国師ヶ岳、金峰山方面が開けている。山頂は若者のグループから我々より年配の方まで、男女ともほぼ均等で満杯状態。百名山だけあって人気の山だ。雨が少なかった今年の夏でしたが、登山道の両脇は苔のじゅうたんで緑が目にと優しい山行となりました。



長野 4:30—毛木平 6:50/7:10—ナメ滝 9:05/9:15—千曲川
水源地 10:20/10:35—尾根分岐 11:00—山頂 11:25/12:00
—水源地 12:42—ナメ滝 13:50—毛木平 15:20

9月22日(月) 天狗岳(八ヶ岳)

天気:晴れ

参加者:



天狗岳への登山道は色々ありますが、今回は唐沢鉱泉から黒百合ヒュッテを経て天狗の奥庭を通り山頂を目指し、西尾根を下る周囲コースです。連休の最終日ですが唐沢鉱泉の駐車場は満車。鉱泉の建物を横目に登山口へ。道は樹林帯の中を進みます。しばらく進むと足元は溶岩の石がゴロゴロしてきます。尾根に出ても同様に溶岩の道がヒュッテまで続く。ヒュッテは布団干しに大忙し。テント泊の登山者もチラホラ。ここから道は樹林帯を抜け、一気に展望が開け快適。雲の合間から穂高・槍ヶ岳も薄っすら確認できる。溶岩台地の天狗の奥庭を気持ちよく歩き東天狗岳へ直登。山頂は少し混み合っています。東天狗を後に20分程で西天狗岳へ。休憩後、山頂から一気に西尾根を降る。下山中、西尾根を登ってくる何組かの登山者に会ったが、山頂に向け最後の登りで皆きつそうだ。西尾根は下りにする方が良さそうです。登山道も少し荒れ気味。以前から少し気になっていた西尾根を歩くことができ満足な山行となりました。大汗をかきながら鉱泉に戻ってきて、もう一つ楽しみにしていた鉱泉の入浴でしたが、テレビの取材とやらで入れませんでした。こちらは残念。



長野 4:30—唐沢鉱泉 P6:50/7:15—黒百合ヒュッテ
9:20/9:35—東天狗山頂 10:50/10:55—西天狗山頂
11:15/12:00—第二展望台 12:25—第一展望台 12:55—分岐
13:30—唐沢鉱泉

